

ワンガイドシステム

ふれあいファミリー歯科

1. One Guide System (ワンガイドシステム) とは？

オステム社※のインプラント埋入手術の際に利用されるシステムのこと、CTで撮影したデータおよび患者様の歯型の3Dスキャンをもとに、**術前シミュレーション**を行い正確なガイドテンプレートの作製ができます。歯肉を切開しないため縫合・抜糸が不要となり、その分治療期間が短縮され、比較的低侵襲で安全な治療が期待できます。

当院ではこのシステムを導入しております。



OneGuide System

※世界各国で選ばれるグローバルブランドです。

2. ワンガイドの特徴 (おすすめポイント)

(1) インプラントの手術を安全に行えます。(安全性の向上)

計画された位置に正確且つ各患者様に適したOne Guideテンプレートを装着する事で、**安全にインプラント手術を行うことが可能です。**

従来のインプラント治療では、医師の経験と感覚に頼って埋入角度をつけていたため、適切な角度からズレている可能性があります。精密検査の際に行ったCT撮影から顎骨の立体的な画像を専用のソフトに取り込むことで、事前にシミュレーションを行え、ぶっつけ本番で手術を行うよりも、安全性や治療効果の持続の向上が期待できます。また、解剖学的、補綴の見地から立てた治療計画に沿って、インプラント埋入を誘導するOne Guideテンプレートを作製します。この作成されたマウスピースのような形をしたテンプレートを利用すると、適切な埋入位置・角度・深度でインプラントを植立できるようになります。

(2) 最小限の痛みと早い回復 (フラップレス手術が可能)

歯肉を切開することなく、インプラントが入る程度の小さなホールを開ける方法ですので、**最小限の痛みと早い回復がのぞめます。**

通常のインプラント治療のように歯肉を切開してドリルで穴を開けることなく、必要な分の穴をあけるフラップレス(無切開)手術が可能になるため、外科的侵襲の範囲が必要最小限となります。通常の治療と比較すると、縫合・抜糸などの工程がないため、治療期間が短くて済みます。また、切開や縫合、抜糸の必要がないため、術後の痛みや腫れ、出血が軽減されます。それに伴って、身体的な負担も抑えられます。



(3) インプラント手術は1日(1回)のみ

インプラント体と骨との結合状態によってはインプラント手術の当日に天然の歯と同様の仮歯を入れることができます。(症例による)



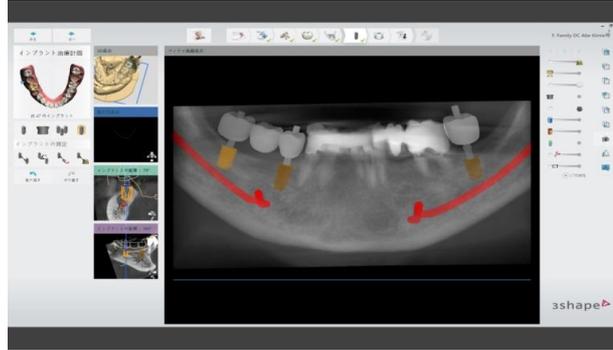
ワンガイドシステム

ふれあいファミリー歯科

3. ワンガイドシステムのステップ

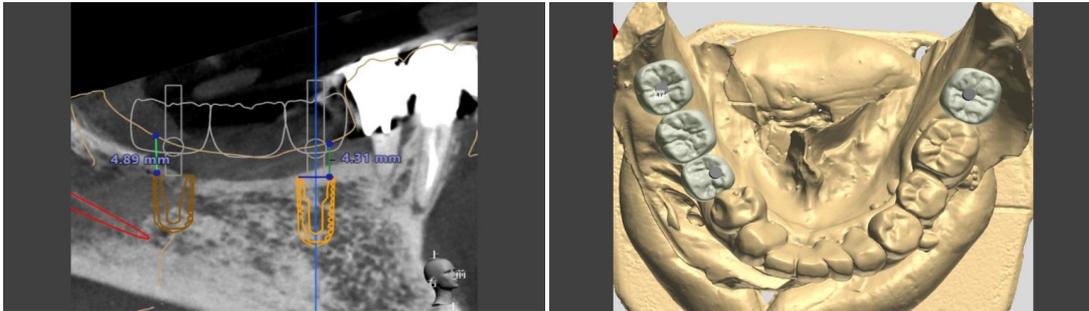
① 3Dによる画像診断

CTにて撮影した3Dデータをもとに、歯肉、骨、神経を総合的に考慮し精密な診断が可能なシステムです。



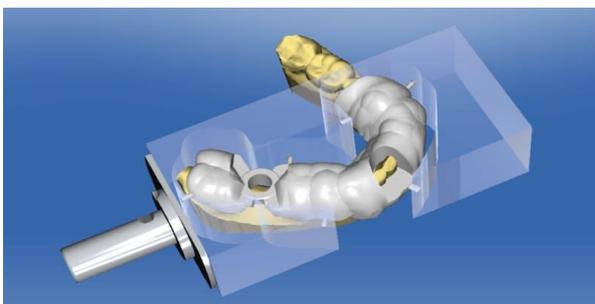
② PCシミュレーション

PCによる「シミュレーション手術」を元に、インプラントの最適な手術位置を設定し、実際の手術が行うことが可能です。また、それぞれの患者様に最適なOne Guideテンプレートを製作致します。



③ 装着

完成したOne Guideテンプレートをインプラント手術前に口腔内に装着した状態でインプラント手術を開始します。このことにより、計画した通りの位置で安全に施術が可能となります



ワンガイドシステム

ふれあいファミリー歯科

4. 他院のマニュアル手術と当院のコンピューターガイド手術との比較

(1) マニュアル手術

一般的なインプラント手術では、手術で歯ぐきを切開してから歯科医師が肉眼で見てその場で対応し、インプラントを埋め込んでいます。事前にCTやレントゲンをいくら撮影しても、神経の位置や血管、隣在歯根などは歯の骨に隠されて見えません。

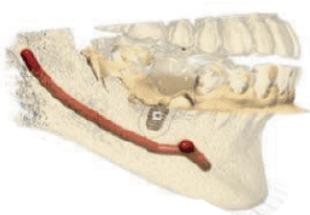
(2) コンピューターガイド手術

手術の前段階で、CTやレントゲンデータを元に入念な診断をコンピューター上でを行い、神経や血管の位置も考慮した正確な埋入位置のシミュレーションを行います。歯科医師が正確なガイドの元に手術を行いますので、安全性の向上に加え短時間で手術が行えます。

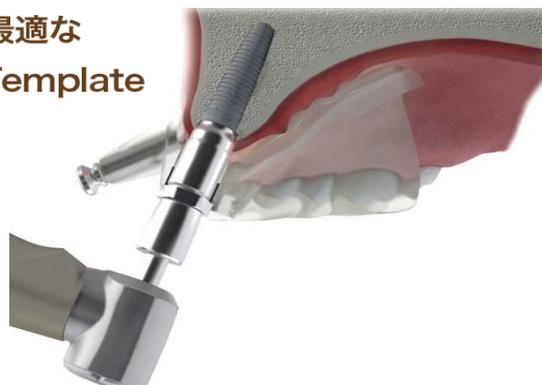
開けてみないとわからない手術

事前に予測ができています

比較項目	マニュアル手術	コンピューターガイド手術
手術時間	正確に手術を行うためには、術中にレントゲンやCTを撮影して確認する必要があり、時間がかかる	短時間
手術中	手術中にインプラントの位置、深さ、方向を、経験で考えながら埋入する必要があります	手術前にすべて決定しているため決められたガイドラインにそって手術を遂行するのみ
治療結果	CTを撮影しても、だいたいの目安で手術を行うため、インプラントに熟達した歯科医師の技術をこらしても、インプラントの位置、方向、深さに関して、時として失敗することがあり、実際に事故が多く起っている	ガイドラインに正確に治療を進めれば歯科医師の技術と、デジタル技術を用いることにより、インプラントの位置、方向、深さなど失敗することなく、安全で正確な手術ができる



患者様に最適な
One Guide Template



ワンガイドシステム

ふれあいファミリー歯科

5. マニュアル手術で起こりうること

(1) 埋入手術に関する問題

埋入位置の不良 ⇒ これが、後に様々な問題を引き起こします

- | | |
|------------|-----------|
| ①神経損傷 | ⑤死亡事故 |
| ②健康な隣の歯を破壊 | ⑥全身的な不調 |
| ③違和感 | ⑦うまく噛めない |
| ④痛み | ⑧見た目が悪くなる |

(2) 手術後の生物学的な問題

術後の骨吸収、歯肉退縮

(3) 手術後のテクニカルな問題

補綴(上部構造物)の不適合、不具合

6. コンピューターガイド手術 (ワンガイドシステム) の利点

- ①術前に、審美性や機能性を考慮した最終補綴物を想定し、
インプラント埋入のシミュレーションができる
- ②計画と寸分たがわず、精度の高いポジショニングと手術ができる
- ③術後、事前に想定した通りの補綴物を作製することができる
- ④骨移植が必要な症例から骨が十分にある症例まで、すべての症例に対応できる
- ⑤正確な位置にインプラントを入れられるため、その後も安全で長期に機能する



より安全な治療

手術の短時間化

埋入位置の精度

